

### 3 里地里山管理や利用の実践的手法の拡大

#### ③里地里山を付加価値とした経済活性化の例

##### 京都：インターネットを活用したバーチャル農業体験と農産物直売

###### ●バーチャル農業体験（綾部地区）

NPO 法人里山ねっと・あやべでは、農作物等の育成情報（作付け前から又は生育途中から収穫までの期間）と農作物等を収穫する権利を販売するインターネット農園「ファーマーズびれっじ」を立ち上げている。

権利を取得した「ファーマー」（都市住民）は自分が栽培したい農作物をリストの中から指定し、「パートナー」（市内農家）が指定された農作物を栽培、「レポーター」（市内居住者）が農作物の生育経過や村の様子をブログで報告する。「ファーマー」は堆肥の種類や消毒方法を指定するなど栽培に参加することもできる。

この取り組みは市内の自家栽培農家を中心に行っており、耕作放棄されやすい小規模な農地の保全につながるものと期待されている。



豊里村西地区の畑の例  
区画はこの地区で栽培されている畑と作物の種類と数を表している。

###### ●酢の醸造に使用する無農薬米の生産（宮津地区）

宮津地区では、地域の酢の醸造企業が源流域の水の美しい地域における無農薬米を原料として確保するため、遊休農地を借り上げ、無農薬米栽培を行っている。また、農作業の際の休憩場所として空家を補修して利用するなど、地域活性化にも寄与している。

